

世界最大級のインテリア・デザイン見本市「メゾン・エ・オブジェ」レポート

兵庫県パリ事務所 所長 東 信隆

デザイン・ファッションの街パリを代表する巨大見本市

2024年1月18日～22日の5日間にわたって、「メゾン・エ・オブジェ」という世界最大級のインテリア・デザイン見本市がパリで開催されました。毎年1月と9月の年2回開催され、世界中からメゾン(家)とオブジェ(アイテム)に関するあらゆる商品が、シャルル・ド・ゴール空港近くにあるフランス最大の展示会場に集結し、デザインやライフスタイルの最新トレンドを探求・発信する巨大なBtoBプラットフォームです。

記念すべき30周年を迎えた今回は、2,516社が出展し(6割は国外から)、約7万人が来場しました(4割は国外の約140か国から)。毎日のように大型見本市が開催されるパリでも群を抜く規模で、パリ市内の多数のギャラリーでは公認の展示会が同時開催されるなど、メゾン・エ・オブジェはまさにデザイン・ファッションの街パリを代表する見本市です。

毎回、兵庫県内からも複数の企業・団体が出展していることから、当事務所では、欧州市場への参入を図る県内事業者への支援につなげるため、会場にて出展者へのヒアリングやトレンド情報の収集等を行っています。

「右脳で買う」のがフランス流？

メゾン・エ・オブジェの最大の特徴はその規模ではなく、こだわり抜いた展示ディスプレイにあります。特に大手企業が集まるゾーンは、展示ブースというよりホテルロビーやレストランをそのまま会場内に設営したような大胆さで、商品だけでなく展示空間も含め、ブランドイメージを前面に打ち出した展示が目を引きまします。

家具店のIKEAの店舗内にはキッチンや寝室などを一つのコンセプトでまとめた部屋がありますが、この見本市の展示をたとえば、IKEAの部屋を再現したディスプレイにさらにエッジを効かせたようなものではないでしょうか。広い会場内にカラフルで個性的な空間が延々と続く光景は圧巻です。

10年以上出展し続けて成功している日本企業に話を伺うと、「バイヤーがブースの前を通過するのはたった5秒。パッと見て立ち止まるかどうか成否を分ける。展示品はできるだけ絞り、1つでも良い。世界観を体現したブ



来場者・出展者向けのカフェスペースでもこのオシャレさ！

ースデザインに、商品が購入者のライフスタイル向上にどう寄与するかを表現した一文のコンセプトフレーズのみを掲示する」とのこと。さらに、「日本人は左脳で説明して

モノを売りたいがるが、フランス人は右脳で感じてモノを買う。スペック、ラインナップ、バリエーションを見せる展示ではなく、ブランドの世界観を見せる展示を心がけている」と続ける。

この企業も長年トライ＆エラーを重ね、それでも欧州のハイセンスなフィードバックを直接得られる貴重な機会として出展し続け、こうしたノウハウを蓄積してきたそうです。

見本市は様々なビジネスの出会いを生むプラットフォーム

今回、神戸レザー協同組合のブースも取材させていただきました。世界的に有名で貴重な神戸ビーフの革を使い、靴やサンダル、家具などの革製品を「KOBE LEATHER®」ブランドとして開発。資源の有効活用や地域内循環の創造に努めており、CO2低排出でサステナブルなレザー製品としてPRしていました。

フランスの新進気鋭の若手デザイナーユニットと組んで、製品開発だけでなく展示ブースのデザインも共同で行ったとのこと。日本製としての品質の確かさとフランスのデザインセンスの「いいとこ取り」が功を奏して、会場内でとても目立っていました。

そのデザイナーユニットは、会場内で発表された「France Design 100」(フランス政府の公的デザイン賞)2024年版に選出され、特設ステージで表彰されていました。デザイナーの一人に話を聞くと、



KOBE LEATHER®のブース。革製家具やカフサキバイクの特注革製シートが目を引きまします。

「兵庫県を訪問して素晴らしい職人技を見てきたので、そうした人たちともっと一緒に仕事をしたい。見本市にはバイヤーだけでなく、デザイナーや業界のリーダーなど多く人が集まっている。商談して販売先を探すだけでなく、デザイナーが関わるプロジェクトに素材のサプライヤーとして参入するなど、すでに買い手が決まっているビジネスに参入する機会もある」とのこと。現在、サウジアラビアにオープンするホテルの家具デザインを手がけているそうで、こうした様々な業界トレンドやビジネスチャンスについて情報収集できることも見本市の魅力だと再認識しました。

パリをはじめ、欧州主要都市では一年中様々なテーマの見本市が開催されています。コロナ禍を経て、欧州では人が直接会って対話し共感することの価値が見直され、見本市はコロナ禍以前よりも盛況です。

今後とも、当事務所は欧州各地の見本市・展示会・ビジネスカンファレンスに参加して、トレンド情報の収集やネットワーキングを進めて参ります。

ひょうご海外ビジネスセンターは、兵庫県が世界3か所に設置する兵庫県海外事務所と連携して、県内企業の海外ビジネス展開を支援しています。本通信は、各海外事務所から寄せられる現地トピックスをお届けするものです。

【発行 公益財団法人ひょうご産業活性化センター ひょうご海外ビジネスセンター】